

# いしがき



令和2年度 宇城市立小野部田小学校  
学校便り 第6号  
文責：校長 川端 保成  
ホームページ <http://es.higo.ed.jp/onoheta/>

## 日本人が忘れて「心」とは？

先日、病院の待合室でのことです。私の左前の方に車椅子で待っている若い女性がいらっしやいました。その方が移動しようと車椅子の向きを変えられた際に、後ろの席に座っていた年配の男性の足に、少し車輪が当たったようです。はっきりとは聞き取れませんが、その年配の方は「ちゃんと見てからせんや」みたいなことを言われたようでした。女性は申し訳なさそうに移動されていきました。ふとした日常によくある光景なのでしょうが、「学校でも似たようなことがあるのでは？」と思いました。

「**うかつあやまり**」ということばがあります。日頃ついうっかりして、人に迷惑をかけてしまうことって、誰だってありますよね。迷惑をかけたら謝ること、これは基本中の基本です。でも、昔、江戸の町に住んでいた人たちの中では、謝られた人も「自分もうっかりしていたな」として、お互いに謝っていたとのこと。これは「**はかむぐさ**」と呼ばれるもので、みんなが気持ちよく笑顔で暮らせるよう、長い間に身につけた立ち居振る舞いの中のひとつです。

このことを先ほどのケースに当てはめてみると、女性は「私の車椅子は幅があるから、もっと気をつけて移動すべきだったな」、だから「ごめんなさい」です。一方の年配の方も「自分も足を投げ出さずに座っていれば、車椅子とぶつかることはなかったな」、だったらどちらからも「ごめんなさい」ということです。

さまざまな見解もありますが、江戸しぐさとは、

- ① 人にして気持ちがいい行い。
- ② 人からしてもらって気持ちがいい行い。
- ③ **まわりで見ている気持ちがいい行い。**

このような「**粹**」でやさしい心をもって生活が送れるよう学校だけでなく、家庭や子どもを取り巻く社会でも、ちょっとでも思い浮かべてもらったら、もっとみんなが過ごしやすい、笑顔の絶えない世の中になるのでは、と考えさせられた出来事でした。



## 小野部田っ子に身につけさせたい「4つの力」

### 【育成を目指す資質・能力】

- ・あきらめずに最後まで粘り強くやりとげる力
- ・まわりと協力し誰かのために行動できる力
- ・夢の実現に向けて努力し続ける力
- ・自分の想いをわかりやすく伝える力

年度当初、私の方から先生方へ初心表明をする際に、小野部田小の子どもたちに「身につけさせたい力」ということで、次の4つを示させていただきました。昨年度実施した保護者アンケートの結果や、本校の学校教育目標に加えて、私の経営方針としての想いを込めさせていただきました。

本校の先生方全員で、この6年間で「何ができるようになるか」その姿を共有して、教育活動を進めていきます。そして、これらのことを身につけていけば、大人になってもとりあえず社会生活が送れるのかなと考えます。

このことについて、今後この紙面のひとつのコーナーとして、ひとつずつご紹介できればと思っています。

まだまだ新型コロナウイルスの感染が止まりません。熊本県のリスクレベルも最高の「レベル4」のままです。これから先、延期していた運動会や、6年生が楽しみにしている修学旅行など、学校行事が目白押しです。開催に向けて、市教育委員会と協議しながら進めていますが、最悪の場合、「前日になって中止」との判断をしなければならぬこともあり得ます。

現時点で運動会は、プログラムを短縮して、午前中日程で行う予定です。来賓の方々や保護者の方々にも、人数制限等でご迷惑をおかけするかもしれませんが、感染防止の観点からの主旨を十分にご理解願います。



### 9月の行事予定

- 7日 身体測定週間
- 17日 宇城市教委 学校訪問
- 19日 小川中 体育大会
- 25日 授業参観・学級懇談会

コロナ感染防止のため、ほとんどの行事が中止や延期となっています。よって、25日に予定していた「PTA教育講演会」も延期としています。新たな実施日についてはあらためて連絡します。ご迷惑をおかけしますが、ご了承願います。

※ 小野部田小学校のホームページに、「日々のつぶやき」として、学校生活のとある場面や、ちょっとしたエピソードなど、随時アップさせて頂いていますので、ぜひご覧ください。